

### 第3回 大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会 要 旨

- 本委員会と連携する形で設置された各部会から、各港湾での被災状況、各部会での高潮・波浪シミュレーションの進め方や、減災対策の今後の取組に関して報告された。
  
- 台風第21号被害の検証について  
現地における浸水の痕跡、高潮、波浪、浸水のシミュレーションの結果等から、浸水原因を特定した。  
神戸港の浸水シミュレーションで得た浸水範囲は、痕跡値と概ね一致した。  
神戸港、尼崎西宮芦屋港、大阪港において、潮位が天端高を超え、越流した可能性がある箇所、潮位は天端高を超えず、高波によって浸水した可能性がある箇所があることが報告された。
  
- 台風時の事前防災行動について  
台風第21号、第24号時の防災行動等を踏まえ、国、港湾管理者及び港運事業者ごとのフェーズ別高潮・暴風対応計画（案）が報告された。  
大阪湾BCPや港湾BCPに高潮対策も盛り込むことを検討していく。  
気象・海象情報等をホームページで一元化することを検討する。
  
- 高潮対策の検討に向けた視点（案）  
今後のソフト・ハード対策を自助・共助・公助の視点で整理しなおしたものをあらためて提示した。
  
- これまでの検討結果を中間とりまとめ（案）として整理するとともに、最終とりまとめを年度末に提示する。

以上